

平成 30 年 1 月 22 日

平成 29 年度総務文教常任委員会行政視察報告書

1. 日 程 平成 29 年 11 月 7 日（火）～ 11 月 9 日（木）
2. 視 察 先 福岡県福津市 人口 62,782 人（平成 29 年 9 月末現在）面積 52.76 km²
大分県豊後高田市 人口 23,059 人（平成 29 年 3 月末現在）面積 206.24 km²
3. 視 察 事 項 福 津 市 定住化に向けた取り組みについて
豊後高田市 学びの 21 世紀事業について
4. 視 察 者 委 員 浅野一明 委員長 安武秀敏 副委員長
佐藤俊夫 委 員 山田義栄 委 員
樋口博務 委 員 樋口浩二 委 員
当 局 目黒博之 企画財政課 課長補佐
随 行 吉田和実 議会事務局 主査

福津市

（1）福津市の概要

福津市は、平成 17 年 1 月 24 日に旧福岡町と旧津屋崎町が合併して誕生した。福岡県の北部、福岡市と北九州市の近隣に位置し、北東側は宗像市、南東側は宮若市、南側は古賀市に隣接しており、東部が低山、西部が玄界灘に面している。

交通網は、東西に JR 鹿児島本線、国道 3 号線が延び海岸線と並行して国道 495 号線が走っている。さらに、近くには九州自動車道若宮インター、古賀インターもあり広域的な交通利便性にも富んでいる。

気候は、対馬海流の影響を受け、冬でも比較的温暖で年間降水量はおよそ 1,500 mm 前後、野菜の促成栽培など施設園芸農業も盛んである。

（2）定住化に向けた取り組みについて

① 人口増加の現状

東洋経済オンラインが発表している「住みよさランキング 2017 年版」では、全国 35 位、九州 1 位、福岡県 1 位、「快適度ランキング」では全国 3 位である。

人口も増加を続けており、平成 17 年の国勢調査人口では 55,677 人であった人口が、平成 27 年の国勢調査では 58,808 人となっており、平成 29 年 9 月末の住民基本台帳人口では 62,782 人となっている。

福津市の「東洋経済 住みよさランキング」について

福岡県 福津市 ※ H23は東日本大震災のためランキングなし

項目	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H24	H25	H26	H27	H28	H29	根拠
市の数	741	780	783	784	784	787	788	790	791	790	790	791	
総合ランキング	646	646	663	685	280	335	150	75	60	37	44	35	
安心度	257	305	244	345	278	328	198	222	312	268	310	267	病院・診療所病床数、介護老人福祉・保健施設数、出生率
利便度	736	771	770	773	110	187	162	79	83	85	103	106	小売業年間販売額、大型小売店店舗面積
快適度	468	409	503	514	523	396	136	63	22	3	2	3	汚水処理人口普及率、都市公園面積、転入人口比率、新設住宅着工件数
富裕度	443	462	481	477	492	498	507	519	516	502	538	540	財政力指数、地方税収入額、課税対象所得
住居水準充実度	276	310	295	257	300	303	339	341	340	361	361	359	住宅延べ床面積、持ち家世帯比率

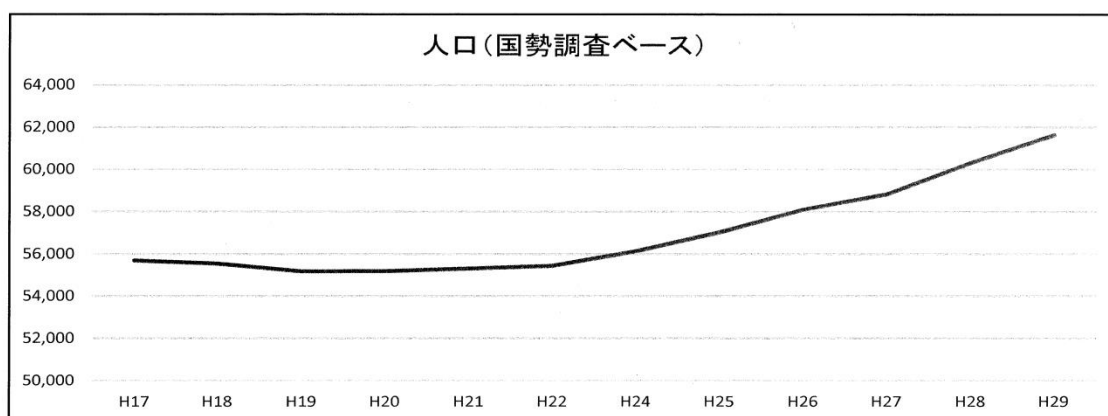
合併
市誕生

駅東区画
整理1回仮
換地指定

JR福間駅
改築

イオンモ
ール福津
オープン

駅東区画
整理事業
終了



② 人口増加の要因

福津市は、宮地嶽神社や津屋崎・福間海岸などを中心とした観光レクリエーションの場として、また、福岡・北九州両政令市への通勤・通学の利便性を背景とした住宅地域として、さらには、新鮮な食料品の生産供給地域としての広域的な役割を持っている。

人口の増加については、このような地勢的な状況の下で、2町の合併で「市」となったことに対するイメージの向上、また、合併前から進められていた JR 福間駅近くの区画整理事業が行われたことが要因と考えられる。

独立行政法人都市再生機構が施行者となって行われた福間都市計画事業福間駅東土地区画整理事業は、施工面積約 107.5ha、事業費約 191 億円、施工期間平成 16 年 7 月から平成 26 年 5 月で、福間駅を中心とした福津市の「核づくり」を目指し、国道 3 号と 495 号の南北道路交通軸を結ぶ東西道路交通軸等の公共施設の整備改善及び JR 福間駅の利便性を活かした商業施設用地と住宅用地等の整備を図ることにより、健康でかつ良好な住環境を有す

る拠点市街地を形成することを目的に実施された。

(3) 所感

福津市は、福岡市と北九州市のほぼ中間点に位置し、両都市のベッドタウンとして発展する恵まれた環境にあり、旧2町の合併前から人口は伸ばしてきました。しかし、そのような環境に甘んずることなく、さらなる発展を目指して都市の将来像を描き、合併特例債も住民の利便性を向上させるための土地区画整理事業や下水道整備事業にあてるなど、市の魅力の向上に努めてこられました。

加茂市でも商店街の近代化事業が最終の段階を迎えています。この先も、市としての魅力をさらに高める施策や事業を常に企画し続ける必要があると考えます。

豊後高田市

(1) 豊後高田市の概要

豊後高田市は、大分県の北東部、国東半島の西側に位置し、総面積は206.24 km²で、西は宇佐市、東は国東市、南は杵築市と接している。また、大分市まで約60km、北九州市まで約90kmで、両市に比較的近い距離にあり、北は周防灘に面し、豊かな自然と温暖で過ごしやすい瀬戸内式気候に属している。

この地域は、奈良時代末から宇佐八幡の影響を強く受け、平安時代には宇佐八幡の荘園となり、その経済力を背景として独特の山岳仏教文化「六郷満山文化」を開花させた。

域内には、瀬戸内海国立公園及び国東半島県立自然公園を擁し、山間部及び海岸部の自然景観や農村集落景観、六郷満山文化ゆかりの史跡等、豊かな自然と歴史文化などの地域資源が豊富である。

(2) 学びの21世紀事業について

取り組みが始まった当時（平成14年）は、完全学校週五日制が始まり、保護者や学校関係者などから、学力低下や土曜日の過ごし方に対する不安の声が多数寄せられていた。そこで、地方（田舎）に住んでいても、都会に住んでいても、学習（教育）機会に差があってはならないし、ましてや経済的理由で受けられる教育に差があってはならないという理念のもとで、①いきいき寺子屋活動事業（知）、②わくわく体験活動事業（徳）、③のびのび放課後活動事業（体）を柱としてスタートした。

「学びの21世紀塾」は16年目を迎え、今では小中学生のほとんどの子どもたちが利用

している。

① いきいき寺子屋活動事業

「いきいき寺子屋活動」は、当初は土曜日学習（講座）で始まった。その後、児童・生徒、保護者、学校教職員の要望によって広がり、中学生を対象とした「水曜日講座」、長期休業日を利用した「夏季・冬季特別講座が実施されるようになった。

平成 29 年度は、86 講座 179 教室が開設され、塾生延 2,732 人、指導者 279 人（市民、教職員等）、ボランティア 234 人（市民等、教職員）が登録されている。

② わくわく体験活動事業

「わくわく体験活動」は、市内の各地区公民館と学校を中心に、週末や平日の放課後を利用して、子どもたちが日頃体験することができないような活動を行っている。

料理教室、太鼓教室、スポーツレクリエーション教室、環境美化教室など、地域の大人とふれあいながら体験的な活動を行う「週末子ども育成活動」と、長期休暇中に宿泊型社会教育施設を活用してまるごと熱中体験を行う「ステップアップスクール」がある。

③ のびのび放課後活動事業

健やかな心や体づくりを目指し、放課後を利用してスポーツ活動が盛んに行われている。保護者、地域の方、教職員の指導のもと、少年野球、少女バレー、ソフトテニス、空手道等、29 団体が登録されて活動を行っている。

（3）所感

今回の視察では、学びの 21 世紀塾市民講座も行われている市立図書館も見学させていただいた。豊後高田市は、既存の商店街を活かした「昭和の町」としても有名だが、そのようなまちの将来を担う子どもたちを育てる「教育のまち」であることが強く感じられた。

子どもたちが、学力を伸ばすとともに、地域の大人と一緒に多様な経験を積むことが、子どもたちの成長にもなり、同時に、大人も含めた地域全体の一体感を生むように思う。